

# みなみかぜ

## 令和5年度学校教育目標

「ふるさとと人を愛し、自らの夢に向かって、力強く歩み続ける子どもの育成」

### 学校教育目標「人を愛する」ことに関して

人を愛する・大事にするためには、まずは自分を大切にすることが大切です。そのためには、「自分のことが好きです」と自信を持って言えることが大切だと考えます。そう言えることはとても素敵なことだと思われませんか。

また、自分が嫌いな状態のままでは、本当の意味で自分の夢に向かって努力することは難しいと思います。菊陽北小学校でも是非、全員の子どもたちが「自分を好きです」と言えるようになってほしいと思っています。

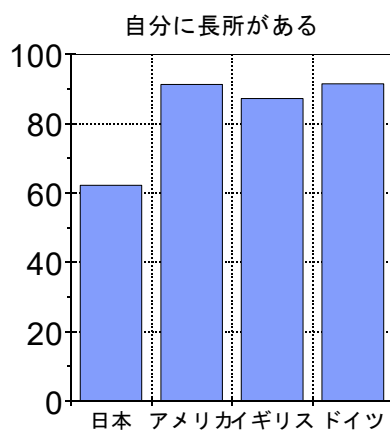
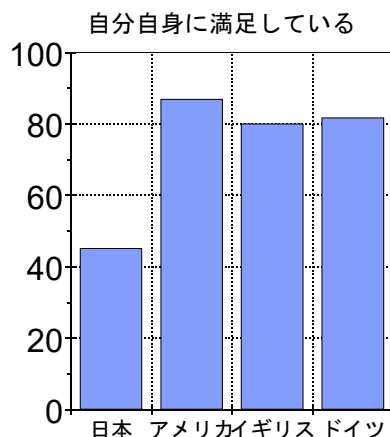
私がこんなことを思うようになったのは、毎年行われている日本と諸外国の若者(10代から20代)の意識調査の結果を見たからです。今回は2018年の結果をお知らせします。

「自分自身に満足している」という問いに、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と肯定的に答えた若者は、**アメリカ・ドイツ・イギリスが80%を超えているのに対し、日本は45.1%**とかなり低くなっています。

自分自身に満足しているということは、言い換えれば**自分が好き**ということだと思います。日本の若者は自分のことが好きな割合がかなり低いということが心配になりました。

なぜそうなるのかいくつかデータを見てみました。2番目のグラフは「**自分に長所がある**」と思うか聞いてあります。すると、**アメリカ・イギリス・ドイツがほぼ90%**なのに対し、**日本は62.2%**でした。自分に長所があると感じることは自尊感情につながるものです。

日本の若者は自尊感情が低く、自尊感情を高める取組が必要なことが分かります。もう一つ、「**自分は誰かの役に立っている**」という問いがあります。これは**自己有用感**につながるものです。これについては、次回紹介します。



### おすすめの本シリーズ29

- ①本名「びりっかすの神さま」
- ②対象年齢：小学校5年
- ③164P
- ④作者：岡田 淳
- ⑤出版社：偕成社



木下始は転校生です。始が転校したクラスは、成績順で席が決まります。ところがびりになった人にだけ見える神さまが現れ……。一番になることや競うことよりも助け合うことの大切さを考えさせられる本です。